（様式2）

平成22年度　事務事業評価シート

部署名	社会教育課	文化振興係	No	1

施策体系	大項目（政策）		中項目（施策）		小項目（基本事業）	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
事業名	文化財保護意識の啓発事業					

予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細　目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費	会計種別		一般会計

事務区分（根拠法令）	自治事務　（　　　　）	予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景（事業が始まった経緯、現況）	事業の内容（対象・目的・意図）	事業実施の手段・手順
市内には先人たちの生活の証である文化財が多く残されている。こうした文化遺産を保護・継承していくために、文化財の保護意識の醸成を図る。 年１回、文化財防火デー(1/26)にあわせて実施している。	市内にある文化財を広く市民に周知し、保護意識の醸成。	市内にある文化財を広く市民に周知し、保護意識を醸成するため防火訓練を開催する。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度（A/B）
実施に要する予算額		実施回数		
目標値（単位）	実績値（単位）	目標値A（単位）	実績値B（単位）	100 %
12,000 （円）	12,000 （円）	1 （回）	1 （回）	

2 DO

歳出		予算現額（千円）	決算額（円）
支出内訳	役務費	12	12,000
合　計		12	12,000

歳入			予算現額（千円）	決算額（円）
財源内訳（割合）	国庫支出金	（　）		
	県支出金	（　）		
	地方債	（　）		
	その他	（　）		
	一般財源	(100%)	12	12,000
合　計			12	12,000

人件費概算	人工数（人役）	人件費（円）
	0.15	942,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A　必要性が高い	A　有効性が高い	A　効率性が高い	A　目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
防火に関する意識啓発のみであるため、内容の検討が必要。	文化財保護意識の啓発及び広く市民への周知。

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	

（様式2）

平成22年度　事務事業評価シート

部署名	社会教育課	文化振興係	No	2

施策体系	大項目（政策）		中項目（施策）		小項目（基本事業）	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承

事業名	文化財の保存・整備事業

予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細　目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費	会計種別		一般会計

事務区分（根拠法令）	自治事務　（　）	予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景（事業が始まった経緯、現況）	事業の内容（対象・目的・意図）	事業実施の手段・手順
市内には先人たちの生活の証である文化財が多く残されている。こうした文化遺産を保護・継承していくために、文化財の保存・整備を行う。	市内にある文化財の管理・整備及び修復を行うことにより、本市への愛着を持ち、誇りを感じるまちづくりを進める。	市内にある文化財の管理・整備及び修復を行う。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度（A/B）
実施に要する予算額		修復等を実施した数		
目標値（単位）	実績値（単位）	目標値A（単位）	実績値B（単位）	
686,000　（円）	644,223　（円）	2　（件）	2　（件）	100 %

2 DO

歳出		予算現額（千円）	決算額（円）
支出内訳	普通旅費	3	2,600
	需用費	142	110,407
	役務費	125	115,316
	委託料	215	214,900
	負担金、補助及び交付金	201	201,000
合　計		686	644,223

歳入			予算現額（千円）	決算額（円）
財源内訳（割合）	国庫支出金	（　）		
	県支出金	（　）		
	地方債	（　）		
	その他	（　）		
	一般財源	(100%)	686	644,223
合　計			686	644,223

人件費概算	人工数（人役）	人件費（円）
	0.35	2,198,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A　必要性が高い	A　有効性が高い	A　効率性が高い	A　目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
市民の文化財への誇りと愛着意識の高揚。	市民に親しんでもらうため、継続的な整備・補修が必要。

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	

（様式2）

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	社会教育課	文化振興係	No	3

	大項目（政策）		中項目（施策）		小項目（基本事業）	
施策体系	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承

事業名	文化財審議会事業

予算費目								
	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1 社会教育総務費
	細 目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費	会計種別	一般会計

事務区分（根拠法令）	自治事務 （ ）	予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景（事業が始まった経緯、現況）	事業の内容（対象・目的・意図）	事業実施の手段・手順
市内には先人たちの生活の証である文化財が多く残されている。こうした文化遺産を保護・継承していくために、文化財の調査・研究を行う。 年２回、会議や現場視察を実施し、文化財の保存・活用に寄与している。	文化財審議会委員（８名） 文化財を発掘・調査・指定し、市民に知らしめることで、文化財を生かしたまちづくりを進める。	市内にある文化財について調査・研究を行う。（文化財の調査、リストの作成等）

活動指標		成果指標		成果指標の到達度（A/B）
開催に要する予算額		会議回数		
目標値（単位）	実績値（単位）	目標値A（単位）	実績値B（単位）	100 %
16,000 （円）	16,000 （円）	2 （回）	2 （回）	

2 DO

歳出		予算現額（千円）	決算額（円）
支出内訳	報償費	16	16,000
合 計		16	16,000

歳入			予算現額（千円）	決算額（円）
財源内訳（割合）	国庫支出金	（ ）		
	県支出金	（ ）		
	地方債	（ ）		
	その他	（ ）		
	一般財源	(100%)	16	16,000
合 計			16	16,000

人件費概算	人工数（人役）	人件費（円）
	0.05	314,000

3 CHECK

	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
事務事業の評価	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
後継者育成	審議会内での育成と文化財愛護団体等との連携

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	

（様式2）

平成22年度　事務事業評価シート

部署名	社会教育課	文化振興係	No	4

施策体系	大項目（政策）		中項目（施策）		小項目（基本事業）	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承

事業名	伝承文化の継承事業

予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細　目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費	会計種別		一般会計

事務区分（根拠法令）	自治事務　　　（　　　　　　　　）	予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景（事業が始まった経緯、現況）	事業の内容（対象・目的・意図）	事業実施の手段・手順
伝統行事や伝統芸能の継承発展を図る。　古式行事は市指定の無形文化財として年１回、厚狭秋まつりで市民に披露している。	伝統行事や伝統芸能の継承している「古式行事保存会」の育成・助成。伝統芸能や伝統行事の保存・継承を行い、ふるさとに愛着を持ち、文化財を生かしたまちづくりを進める。	市内に伝わる伝統芸能や伝統行事の保存・継承を行う。（保存団体の育成、活動助成）

活動指標		成果指標		成果指標の到達度（A/B）
実施に要する予算額		活動回数		
目標値（単位）	実績値（単位）	目標値A（単位）	実績値B（単位）	100 %
450,000 （円）	450,000 （円）	1 （回）	1 （回）	

2 DO

歳出		予算現額（千円）	決算額（円）
支出内訳	負担金、補助及び交付金	450	450,000
合　計		450	450,000

歳入			予算現額（千円）	決算額（円）
財源内訳（割合）	国庫支出金	（　）		
	県支出金	（　）		
	地方債	（　）		
	その他	（　）		
	一般財源	(100%)	450	450,000
合　計			450	450,000

人件費概算	人工数（人役）	人件費（円）
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A　必要性が高い	A　有効性が高い	A　効率性が高い	A　目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
保存会の後継者の育成。	地区での伝承文化へ対する誇り等の意識高揚を図る。

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	

（様式2）

平成22年度　事務事業評価シート

部署名	歴史民俗資料館		No	1

施策体系	大項目（政策）		中項目（施策）		小項目（基本事業）	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承

事業名	歴史民俗資料館管理運営事業

予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	6	歴史民俗資料館費
	細　目	1	歴史民俗資料館運営業務	細々目	1	歴史民俗資料館管理運営費	会計種別		一般会計

事務区分（根拠法令）	自治事務　　　（　　　　　　　　）	予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景（事業が始まった経緯、現況）	事業の内容（対象・目的・意図）	事業実施の手段・手順
資料館は、旧小野田市制４０周年と旧小野田セメント株式会社の創業１００周年を記念として、小野田セメントから建設費の寄附並びに数々の貴重なセメント関連資料の寄託を受けて建設された。近年入館者数は横ばい傾向であった。	市民に歴史や郷土、文化財等に興味を持ってもらうため、魅力ある企画展などの運営を図る。	市民に気軽に見学していただくため、団体客や希望者には展示資料の説明を行う。また、郷土資料の保存や継承、解説パネルやキャプションなどの改善に努める。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度（A/B）
運営に必要な経費 ※目標値（前年度実績）		入館者数 ※目標値（21年度実績値の約2割増）		
目標値（単位）	実績値（単位）	目標値A（単位）	実績値B（単位）	193 %
3,153（千円）	3,482（千円）	3,100（人）	5,976（人）	

2 DO

歳出		予算現額（千円）	決算額（円）
支出内訳	旅費	4	2,600
	需用費	2,212	2,211,774
	役務費	163	160,436
	委託料	854	853,650
	工事請負費	307	253,050
合　計		3,540	3,481,510

歳入			予算現額（千円）	決算額（円）
財源内訳（割合）	国庫支出金	（　）		
	県支出金	（　）		
	地方債	（　）		
	その他	（0.6）	21	156,600
	一般財源	（99.4）	3,519	3,324,910
合　計			3,540	3,481,510

人件費概算	人工数（人役）	人件費（円）
	3	2,267,237

3 CHECK

	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
事務事業の評価	A　必要性が高い	A　有効性が高い	A　効率性が高い	A　目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
市民にとって魅力のある企画展等を開催するためには、学芸員の熱意やセンスが必要である。今のところは人材面で不足はないが、将来的に安定した雇用が必要である。	学芸員の増員。

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	